

こんな活動やっています



～鳥居本中学校「男鬼森林学習」が農林水産大臣賞を受賞しました～

彦根市立鳥居本中学校では、昭和56年より、彦根市男鬼（おおり）町にある学校林（鳥居本財産区有林）で森林学習を行っています。

その活動が評価され「平成26年度全日本学校関係緑化コンクール学校林等活動の部」において特選（農林水産大臣賞）を受賞されました。

今年度は、4月に1年生が伐採跡地でヒノキの植栽と食被害防止ネットの設置、2年生



が間伐を行いました。その丸太を製材所が製材し、夏休みに3年生が「すのこ」を製作します。

シカに食べられないように苗木にネットをかぶせます

これらの活動では、地域の森林所有者団体「鳥居本森林生産組合」役員が技術的な指導を行っています。また、鳥居本財産区の役員が財産区有林の歴史を教えています。

明治時代から鳥居本地域の住民が大切に育ててきた山林で地域の子どもたちが森林学習を行う。その山林から産出された木材を、地域の先輩たちに感謝しながら学校で利用する—

今回の農林水産大臣賞受賞で森林学習の意義を再確認され、学校林を次の世代へと繋いでいかれることでしょう。（北村）



間伐した木は枝を払い、丸太にします

この人に注目！！

さわやか！‘林業女子’ 東近江市永源寺森林組合 松尾扶美さん

今回は、東近江市永源寺森林組合の紅一点職員、松尾さんに注目します。



彼女は平成27年に同森林組合に採用されました。所用で中部森林整備事務所に来られた時は、事務所の雰囲気も和みます。

森林組合の原課長に採用の経緯を伺うと、「活動ベースである旧永源寺町（三重県と接する奥山）での搬出間伐が増加してきたこと、平成の合併を契機に、森林組合がなかった里山地区へのセールスが実を結び、いくつかの森林経営計画が動き始めたことから、新規職員募集の折に採用した」とのこと。



道具の手入れも怠りません

また、「現場作業から施業提案、営業等、何にでも取り組んで吸収したいという本人の想いから、まずは、一番重要な現場での林業技術を習得してもらうため、直営班のもとで鍛えています。彼女専用のチェーンソーや刈払い機も購入し、今では伐倒も実践しています。現場も事務も、彼女の影響を受け、仕事ははかどります。」とのこと。

松尾さんには、その笑顔とともにさわやかな風を起こしてもらい、地域を活性化していただければと期待しています。（金子）

「伐倒方向ヨシ！」



「滋賀県水源森林地域保全条例」制定

～森林所有者を変更される際は事前届出を!～

今では、蛇口をひねると水が出るのが当たり前ですが、少し前の日本や、地球の多くの場所では今でも水争いが絶えません。利権を求めて20世紀は石油の時代、21世紀は水の時代とされています。

実際、私たちが暮らすこの青い地球は水の惑星と呼ばれていますが、存在する淡水は地球上の水全体の0.8%、川や湖などの利用しやすい水だと0.01%という報告があります。

水と森はつながっているのが一般的な認識ですが、近頃、他道県で目的不明な森林取得が問題となっています。今のところ滋賀県では、そのような情報は届いていませんが、水源林を象徴するト

チノキ巨樹巨木群の伐採や、シカ被害の増加による森の荒廃などの問題がおこっています。

生じつつあるこのような問題に対応し、水源林としての機能を維持していくために、「滋賀県水源森林地域保全条例」が平成27年4月1日に制定されました。この条例は、森林取引の事前届出制など今までに無かった内容が含まれていますが、新たな規制を加えるものではなく、改めて水源森林の重要性について喚起するものです。

詳しくは、滋賀県のHPをご覧ください。

<http://www.pref.shiga.lg.jp/d/rimmu/>
(寺尾)



© Rakuten Eagles
球団のマスコット
イヌワシの“クラッチ”

“イヌワシの森を守ろう” 楽天の森づくり活動がスタート!

楽天株式会社と彦根市犬上郡営林組合が
「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を締結されました

東北楽天ゴールデンイーグルスで輝かしい成績を収める則本昂大投手の故郷、多賀町。

その多賀町の森はイヌワシをはじめとした貴重な動植物を育てており、その約8%も

の広大な森林を彦根市犬上郡営林組合が管理されています。

この森林を舞台に、楽天(株)の「イヌワシを守ろうプロジェクト」から発展した「楽天の森」プロジェクトの一端として、3月31日に県内23件目となる「琵琶湖森林づくりパートナー協定」が締結されました。

この協定に基づき、すべての生き物が暮らしやすい環境を整えるため、楽天(株)の支援により森林整備が実施されます。

今回は3年間にわたり8.5haのヒノキ人工林にて間伐が実施されます。

間伐による林内環境の改善が小動物の生息環境改善につながり、ひいては猛禽類の採餌環境の改善に繋がります。

多賀町から素晴らしい飛翔を遂げた則本投手と楽天株式会社に縁を感じ、この取り組みが豊かな生態系を育み、イヌワシのさらなる飛翔に繋がることが期待されます。

(梅原)



山側の候補希望地やパートナー協定等のCSR活動のご要望は随時募集しております。詳細は当事務所までお問い合わせください。
Tel: 0748-22-7717